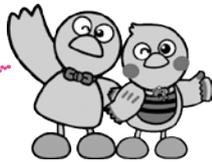


### 第47回シラコバト賞、 あしたのまち・くらしづくり活動賞 表彰式が行われました！

去る11月14日（土）、さいたま市文化センター（さいたま市）にて「平成27年度県民の日記念式典」が開催されました。地方自治功労などに対する県表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰のほか、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 上田 清司 埼玉県知事から賞状と副賞が授与されました。



埼玉県のマスコット  
「コバトン」&「さいたまっち」

受賞された方々、  
おめでとうございます！



### 目次 contents

- P1 ■第47回シラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞表彰式が行われました！
- P2 ■共助社会づくりに向けた市町村協議会の取組
- P3 ■支え合う地域社会を目指して～地域の取組を紹介します！～  
■「地域で活かす 私の力 地域デビュー」を発行
- P4 ■会員紹介



彩の国  
コミュニティ協議会  
マスコット  
サイコミ君

第47回

### シラコバト賞

住みよい地域社会の実現のため、日頃、身近なところで、積極的な実践活動を地道に続けている個人や団体の活動と功績を称えるものです。今年度は146の個人、54の団体が受賞されました。

### 受賞団体紹介

#### ●花と緑の会（狭山市）

平成16年6月に設立。自治会内の公園に住民の憩いの場を作るため、花好きのボランティアが集まり花壇を作り苗木の植栽や管理を行っています。四季折々の花が咲き、地域住民のふれあいの場として喜ばれています。ラベンダーの開花時期には、花と香りを楽しんでもらうため、「花摘み期間」を設けて地域の方々が交流できる場を提供しています。花と緑でいっぱいコミュニティガーデンを見て、多くの方に季節の移ろいを感じてほしいと考えています。これからも、よりよい地域づくりに貢献していきます。



除草作業の様子

### 平成27年度 あしたのまち・ くらしづくり活動賞

住みよい地域社会を目指し、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果をあげた住民団体・企業に贈呈されるものです。当協議会の審査により、本年度は下記の5団体が受賞されました。優秀賞3団体を中央審査会に推薦した結果「芝園団地自治会」が総務大臣賞を受賞されました。

#### 優秀賞

- ・芝園団地自治会（川口市）
- ・カフェ&ふれあいショップふらっと実行委員会（川口市）
- ・埼玉県北部地域ファーマーズマーケット実行委員会（上里町）

#### 奨励賞

- ・美杉台3丁目 美風の会（飯能市）
- ・緑の回廊まちづくりを推進する会（さいたま市）



落書き机を手形アートに

### 受賞団体紹介

#### ●芝園団地自治会（川口市）

入居者約5,000人のマンモス団地で、中国人住民が2,000人を超え、高齢化と国際化という地域コミュニティの質的变化に直面。そこで、国籍を問わず大きな関心事である防災を通じて、中国人住民との小さな関係づくりから始め、イベントを通じて市やUR都市機構などの様々な組織や、近隣の大学生で構成される「芝園かけはしプロジェクト」と連携しつつ問題解決を図っています。このように様々な人々や組織を巻き込みながら、住民だけでは足りない部分を補い合う住民自治の姿＝“開かれた自治会”構想を、今後さらに発展させていきます。

## 共助社会づくりに向けた市町村協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して優先的に助成をしています。前号(会報第45号)で紹介した所沢市自治連合会「避難所設営・宿泊体験訓練」のほか、以下の4つの協議会から活動報告がありましたので御紹介します。

### 八潮市コミュニティ協議会 『地域活動入門講座』～地域の中でつながりを作ろう～

退職された方や地域活動に関心がある方が身近な地域の中に生きがいや活躍の場を見つけて、いきいきとした生活を送ることを目的にこの講座を開催しました。

これは他団体との初めての協働事業であり、市内外から地域活動を行っている方を講師にお迎えしました。講演会と事例発表、交流会を開催したところ、121名の参加がありました。

参加者同士が意見交換を行う交流会は、「顔見知りの関係」を作るきっかけとなり、今後の地域活動につながりました。



交流会の様子

### 川越市自治会連合会 地域で進める子どもと高齢者の交通安全推進事業

地域から交通事故を無くすために、川越市立川越第一小学校の校庭において、自転車事故の再現などの交通安全スタントを実施しました。当日は、会場校と隣接する市立川越小学校の5・6年生約400人と保護者、警察署長、連合会役員及び両学区の自治会員等約300人が参加し、交通事故防止に対する意識啓発を図ることができました。

また、ウェスタ川越において、埼玉県警察交通安全教育指導班による高齢者のための交通安全教育教室のほか、市内のボランティア団体による認知症と判断力の低下についての講演を行い、老人クラブ連合会等の高齢者を中心に理解を深めました。

今後は、地域から市内全域に交通安全の輪を広げていきます。



交通安全スタント

### 東松山市自治会連合会 花を活用したコミュニティの活性化事業

市内7地区7か所の自治会花壇を地域の方々が手作りで整備する、花による新しいコミュニティ形成を目的とした事業です。

各々の自治会で独自に花壇をデザインし、植える花苗の種類や育て方などについて話し合い、手作りで工夫を凝らした花壇づくりを始めました。色々な種類の花苗は住民同士の会話のきっかけとなり、新しいコミュニティが生まれ始めました。今後は花壇の花を利用したイベントなど、さらなる事業の発展を目指すとともに、自治会や地域住民、フラワーサポーター、行政と協働で事業を進め、花の交流の輪を広げていきます。



新たな花壇を整備  
自治会内の目立つ場所に花壇を増設

### 秩父市自治会連合会 地域主体の共助による安全なまちづくり～セーフコミュニティの認証～

セーフコミュニティは世界保健機関(WHO)が推奨する国際認証制度で、「事故やケガは予防できる」という考えに基づき、地域住民が協力して安全なまちづくりを目指すものです。

秩父市では、約3年間にわたり活動を推進し、平成27年11月に認証を取得しました。この間、対策委員会の委員が何度も会議を重ね、市民自らが地域課題の抽出や解決策の検討をしてきました。

今年度は、土砂災害に備えた避難経路を確認するためのワークショップを3つの自治会で実施し、実態に即した避難地図を作成しました。

また、高齢者の転倒予防体操は、年々参加者が増え、今年度の参加者は前年度の2倍以上となる2,000人を超えました。

地域主体のセーフコミュニティによる共助のまちづくりを今後も継続していきます。



セーフコミュニティ認証式典の様子

# 支え合う地域社会を目指して

## ～地域の取組を紹介します!～



人口減少や少子高齢化が進行する中、活力ある社会を維持するためには、年齢や性別に関わらず、誰もが自分に合ったスタイルでいきいきと社会に参画していただくことが大切です。県内では地域性、特性を活かして様々な活動が行われています。今回御紹介する取組にも、お住まいの地域をさらに元気にするヒントがあるかもしれません。

### 霞ヶ関北自治会(川越市)

高齢化率は46.4%と川越市で一番の高齢化地域です。県の「地域支え合いの仕組み」補助金を活用し平成24年9月から「かほくお手伝いサービス」として、地域で困っている高齢者などを対象に有償ボランティアによる掃除や庭の手入れといった日常生活のお手伝いを始めました。

商店街の空き店舗に事務所があるカフェサロン「小畔(こあぜ)のかっぱカフェ」では飲み物やお菓子を提供しており、地域の方の憩いの場所になっています。

また、カフェサロンでは、老若男女問わず利用していただけるよう、子供を対象にした絵本の読み聞かせや古本市、歌声喫茶、絵手紙教室など様々なイベントも開催され、交流の場にもなっています。

市の補助金を活用し平成27年9月には、もう一軒空き店舗を借り、日替わりコックさんの店「にこここ食堂」を開店しました。なお、開店に当たっては、県の「共助仕掛人」を通じて、同様のコミュニティレストランを運営している鶴ヶ島市のNPO法人の話聞き、参考にしました。



にこここ食堂 ある日のランチ

この食堂は、「楽しい食で地域の支え合いを」をコンセプトに、誰もが家庭料理を楽しめる場所となっています。「日替わりコックさんの店」ということで、料理が得意な人が月に数回、コックさんとして食材の仕入れからメニューと値段の決定、調理までを行います。また、これからお店を持ちたい人のチャレンジの場としても活用されています。

高齢化が進む中、地域の人々が安心して暮らし続けていけるよう、住みよい地域社会を目指して活動していきます。

事務局 ● かほくお手伝いサービス事務所内 049-298-6696



歌声喫茶の様子

## 「地域で活かす 私の力 地域デビュー」を発行

— 地域活動への参加のきっかけに —



座談会参加者の皆さん

埼玉県では、県民の皆様へ地域で行われている様々な支え合う活動に関心を持ち、参加につなげていただくため「地域で活かす 私の力 地域デビュー」を作成しました。

この冊子は、特に現役世代や退職を控えた方々を対象に、地域活動への参加のきっかけや楽しさを紹介しています。

作成に際しては、県と「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結した8つの金融機関に御協力いただきました。



### 概要

- ・県内で行われている活動を紹介し、参加者の生の声を紹介
- ・「現役世代が語る地域活動」と題し、地域に密着して活動している金融機関の方々による座談会の模様を掲載
- ・迷っている人にはオススメの活動が分かる自己診断チャートを用意

### ココで配布しています!

- 県(共助社会づくり課、県民案内室)、埼玉県県民活動総合センター、埼玉県社会福祉協議会、県内市町村役場、県内市民活動サポートセンター、市町村社会福祉協議会 など
- 郵送御希望の方は、県共助社会づくり課共助づくり担当(048-830-2815)まで電話で御連絡ください。

# 会員紹介

## 彩の国コミュニティ協議会の会員を紹介します



### 東日本電信電話(株)埼玉事業部



ネット安全教室開催模様

東日本電信電話(株)埼玉事業部では、お客様に信頼され、ご愛顧いただける「人と通信で、地域をつなぐ会社」として、社員一人ひとりが日々の事業活動を通じてCSR活動に取り組んでいます。

そのCSR活動の一環として、平成18年度より次世代を担う子供たちのメディアリテラシー育成の一助となることを目的に、「次世代のICT社会を担う人材の育成」を掲げ、社員が東日本地域の小学校などへ講師として伺い、インターネット上のコミュニケーションのしかた、マナーをテーマにした出張授業「ネット安全教室」を継続的に開催しています。

この教室では、パソコンやスマートフォンなどを通してインターネットを利用する子供が増え、一方でICT社会ならではの様々なトラブルが増加している状況を踏まえ、子供たちがインターネットトラブルの被害者にも加害者にもならないよう具体的なシチュエーションに応じて「対面」と「メール」での対話を使い分け、トラブルを防ぐための上手なコミュニケーションの方法をアニメや実技などを通して、情報モラルを学んでいただいています。

#### <ネット安全教室 開催概要>

コンセプト	子供自身がインターネットトラブルを未然に防ぐ判断力を養う
対象	小学校3年生～中学1年生
料金	無料
時間	45分(授業1コマ)～
授業構成	①アニメーション視聴、②実技、③まとめ

#### <ネット安全教室 開催状況>

平成18年度～平成27年度(12月末)		<再掲>平成27年度(12月末)	
学校数	生徒数	学校数	生徒数
115校	12,644人	4校	404人

### 埼玉県青少年相談員協議会

埼玉県青少年相談員協議会は、昭和42年7月に、青少年相談員の資質向上、相互交流を通して青少年の健全育成を図るために発足しました。

青少年相談員は、18歳から36歳までの青年ボランティアで、お兄さん・お姉さん目線での交流活動を通して、子供のよき話し相手・遊び相手となります。

事業の一つである「野外活動研修会」では、青少年相談員に自然体験活動やキャンプでの引率・指導の技術を習得してもらいます。ビギナーの相談員にとっては、野外炊飯やキャンプファイヤーの基本を講習・実践を通して楽しく学べる場になっています。また、県内各地の相談員同士が交流する機会でもあり、相互に研鑽でき、それが相談員にとって大きな刺激にもなっています。

こうした取組が、地元に戻って活動する相談員の創造性や主体性をかきたて、結果的に地域の子供たちの成長に寄与できるように活動を行っています。

また、傘下の地区協議会では、子ども会などとの協働事業を実施しています。例えば、蕨市青少年相談員協議会では、毎年度、蕨市で行っている「サマー・パーク・フェスティバル」に協力しています。今年は万華鏡とびっくり箱作りを行い、子供たちが来場者に作り方を教え一緒に楽しみました。

現在、地域で子供のまっすぐな成長を支援する青少年相談員を募集しています。私たちと一緒に活動してみませんか。



野外活動研修会